

参考資料2. 日本のサンゴ礁・サンゴ群集分布図



本書では、日本各地のサンゴ礁およびサンゴ群集の分布について地域ごとにまとめた。国内でサンゴ群集が確認されている地域は、サンゴ礁形成に必要とされている夏季月の海水表面温度が25°C以上の地域をとおよその域として、サンゴ礁の発達が見られる地域とサンゴ礁の発達がほとんど見られない地域とに大別される。ここでは、前者を「主なサンゴ礁域」(0-1:地図中、オレンジ色)、後者を「高緯度のサンゴ分布領域」(0-2:地図中、赤色)とし、さらにそれぞれの地域を以下および地図に示すような地域に区分してまとめた。

- 0-1. 主なサンゴ礁域
 - 0-1-1 小笠原諸島
 - 0-1-2 大隅諸島・トカラ列島
 - 0-1-3 奄美群島
 - 0-1-4 沖縄諸島
 - 〔沖縄島、東島、西島、中島、石垣島のその他の島々〕
 - 0-1-5 大東諸島
 - 0-1-6 宮古群島
 - 0-1-7 八重山群島
 - 〔石垣島、石巻、西表島と周辺の島々〕
- 0-2. 高緯度のサンゴ分布領域
 - 0-2-1 房総半島・伊豆半島・伊豆諸島
 - 0-2-2 日本海
 - 〔志保、対馬、隼、五島列島〕
 - 0-2-3 紀伊半島
 - 0-2-4 四国
 - 〔四国東岸、四国東岸、四国西岸〕
 - 0-2-5 九州
 - 〔熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県〕